

(図表1) 価格変化と数量変化が物価指数に与える影響の具体例

品目	価格		取引数量				
	基準時点	比較時点	基準時点	比較時点			
				ケースA	ケースB	ケースC	ケースD
トランジスタ	100	100	200	200	188	176	164
集積回路	100	81	200	200	214	227	240

(注) ここでは、トランジスタおよび集積回路の2財を用いて作られる電気製品を想定し、その産出量は基準時点および比較時点ともに同水準であると仮定。

	ケースA	ケースB	ケースC	ケースD
ラスパイレス指数	90.5	90.5	90.5	90.5
「理論上の物価指数」	90.5	90.3	90.0	89.8
幾何平均指数	90.0	90.0	90.0	90.0
代替の弾力性	0.0	0.5	1.0	1.4

- ケースA ラスパイレス指数 = 「理論上の物価指数」 > 幾何平均指数
 ケースB ラスパイレス指数 > 「理論上の物価指数」 > 幾何平均指数
 ケースC ラスパイレス指数 > 「理論上の物価指数」 = 幾何平均指数
 ケースD ラスパイレス指数 > 幾何平均指数 > 「理論上の物価指数」